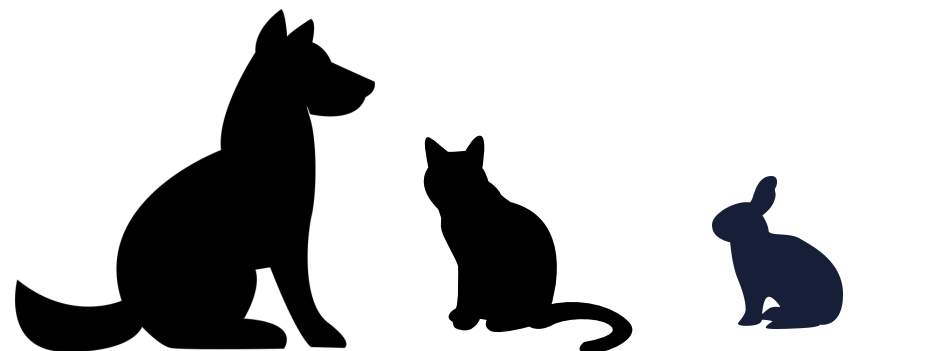


若い世代の方も、考えてみてください

どう防ぐ？

大切な 家族（ペット）の 置き去り



⑤

翌々日、
連日の長時間の
鳴き声に違和感を覚えた
近所の人が警察に相談するも…



①
ある朝

行ってくるね！

まってるねー



⑥

警察にも
鳴き声のみを理由に、
家の鍵を壊して入り、
人の財産であるペットを保護
するのは難しいそうです。

エサが尽きてからは、
家の中のゴミや物を口に入れて
いきました。どんどん衰弱して
いきました。



②

飼い主は出先で倒れて
意識不明、
そのまま病院へ救急搬送。



③

飼い主の氏名、住所は
運転免許証から判明したが、
同居家族のいない飼い主が
ペットを飼っていたことを
誰も知らず…



④
その日の夜



あなたのペットは、あなたに何があったか
知ることができません。

自分に何かあったときに、
残されたペットの存在や、
ペットのもとに向かつて
くれる人を知らせるものを
持ち歩き、お世話をひきつづける
状態にしておくことで、
ペットの置き去りを防ぎます。

(使用例)
もしもの
安心カード



大事な家族です。
飼い主の身に何かあったら
中国の連絡先まで
連絡をお願いします。

実際に、一時的に自分でお世話が
できない事情ができて、
ペットシッター等を利用し、
大切な家族の命を守る選択が
とれた方もいます。

